

2 次の等差数列の初項 a_1 を求めなさい。

(1) 公差が 4 で、第 15 項が 61

(2) 公差が -3 で、第 13 項が -11

氏名 _____

■ 等差数列

等差数列の第 n 項を a_n とすると次の公式が成り立つ。

$$a_n = \text{初項} + (n - 1) \times \text{公差}$$

または、初項は a_1 、公差は d という記号で書かれるので、

$$a_n = a_1 + (n - 1) \times d$$

と書くこともある。

1 次の等差数列の公差 d を求めなさい。

(1) 初項が 5 で、第 13 項が -31

(2) 初項が -4 で、第 9 項が 36

(3) 公差が 8 で、第 15 項が 118

(4) 公差が -2 で、第 10 項が -17

(3) 初項が 3 で、第 10 項が 66

(4) 初項が 3 で、第 19 項が 9

(5) 公差が 6 で、第 8 項が -58

(6) 公差が 3 で、第 10 項が 29

(5) 初項が -10 で、第 14 項が 94

(6) 初項が 36 で、第 16 項が -9

氏名 _____

■ 等差数列

等差数列の第 n 項を a_n とすると次の公式が成り立つ。

$$a_n = \text{初項} + (n - 1) \times \text{公差}$$
 または, 初項は a_1 , 公差は d という記号で書かれるので,

$$a_n = a_1 + (n - 1) \times d$$
 と書くこともある。

1 次の等差数列の公差 d を求めなさい。

- (1) 初項が 2 で, 第 8 項が 23 (2) 初項が 7 で, 第 17 項が -57

- (3) 初項が 21 で, 第 6 項が 11 (4) 初項が -5 で, 第 21 項が 5

- (5) 初項が -1 で, 第 12 項が 54 (6) 初項が 13 で, 第 7 項が 9

- (7) 初項が 2 で, 第 13 項が 50 (8) 初項が -5 で, 第 6 項が 10

2 次の等差数列の初項 a_1 を求めなさい。

- (1) 公差が 4 で, 第 10 項が 29 (2) 公差が 14 で, 第 4 項が 53

- (3) 公差が -3 で, 第 13 項が -42 (4) 公差が -5 で, 第 11 項が -18

- (5) 公差が 2 で, 第 4 項が 31 (6) 公差が -5 で, 第 3 項が 0

- (7) 公差が $\frac{2}{3}$ で, 第 10 項が 1 (8) 公差が 13 で, 第 7 項が 71